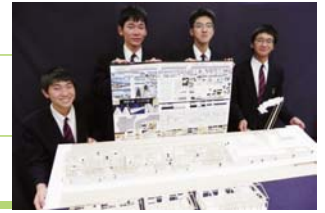


## ベスト8

# 長屋の湯 三つ子の宿

群馬 | 群馬県立桐生工業高等学校 選手…3年生[男子4名]



織物業で栄えた製織町で、重伝建地区に指定されている地区内の長屋のリノベーションである。

この地区は、土地の区割りがよく残っている。中央を貫く大通り(約9m)から短冊状の間口の狭い奥に長い敷地割が特長である。しかし、本作品は、この特長に手を入れ過ぎている。路地的通路にさらに新たに細街路を付加している。地区の空間特性を混乱させることになりはしないだろうか？ また、一の湯を活かすために、長屋の風呂を除去したと記載している。が、不便な日常生活を強いることになりはしないか？

しかしながら、「建築という空間を異化させた」とことと「プレゼン(特にスケッチ)の巧みさ」が功を奏し、その建築空間を異化できなかった埼玉県立春日部工業高等学校などを退け、結果、ベスト8まで残った。

逆に、なかった風呂をコミュニティの仕掛けとして活用した大阪市立都島工業高校に敗退した。テーマの理解度や実現への具体性、表現力はさほど差異がなかったが、空き家が多いほど「都市のふところの深さ」と言い切った(空き家力とよんでいる)独創性は、本作品より優れていた。

(森崎)



## ベスト8

# 甦る

新潟 | 新潟県立新潟工業高等学校 選手…2年生2名、1年生2名[女子4名]



美味しいお米で有名な新潟県の新発田市紫雲寺地区に所在する約150年前に建てられた典型的な農家住宅の再生計画である。和風の造作を活かし、喫茶店と茶寮として甦らせた。建物だけでなく、庭のよさも取り入れ、自然の風と光をふんだんに利用している点がとてもよい。表題にある主庭のスケッチが、庭のイメージを膨らませることができた。

改修計画としては、和の要素である畳の部分を残しつつ、畳を木板に変更し大きな空間をつくることで喫茶コーナーを確保し、建具をはじめとする伝統的な造作を上手に利用している。和の持つ心が次世代に引き継がれていく可能性が伺える。部屋の利用形態としては、喫茶店、茶寮だけでなく、コミュニティスペース、土蔵内部につくられたホール、書道教室、ギャラリーなど、さまざまな提案を行っている。このような近隣の集える場所は、地域の活性化にもつながる。

増築提案の宿泊棟に、もうひと工夫あるとよりよい提案になったと思う。伝統的な建物が今回の提案のような利用の仕方ですることで、歴史的建造物のこれからの保存活動につながることを思われる。この考え方を大事にしていただきたい。

(小野)



## ベスト8

### 小さい町家 ～生成り文化を伝承するゲスト住宅～

三重 | 三重県立伊勢工業高等学校 選手…3年生2名、2年生1名、1年生1名[女子4名]



優勝作品に敗れたが、ベスト4にまで残った。

下屋を挿入添加し、中庭を設け、壁を設けることによって、落ち着いた路地を演出し、戸外の空間をより豊かなものへと変貌させている。民家のリノベーションによるゲスト住宅ということで、2棟分離によるタニニーハウス(小さな家)で充分だ。より安全な住空間のための最低限の鉄骨耐震補強は、ゲストへの思いやりとみる。勝ち抜いて来た最大のポイントは、テーマに対する優しさからかもしれない。

しかし、リノベーションを大きく超えた「大改造」になってしまった。1棟では通用するが、多くの近接の「空き家活用」の観点からはいかがだろうか？ テーマの理解度と具体性の点では優勝作品にやや劣っていたようである。

優勝作品は、テーマの理解度である「地域のくらし」や実現への具体性(今すぐにでも実現しそう)、かつ巧みでわかりやすい表現力(スケッチや模型)があった。また、既存長屋に大屋根を架けるといのは、言われればなるほどだが、その独創性は評価できるし、そのため本作品は敗れた。

ともかく、ベスト4おめでとうございます。

(森崎)



## ベスト8

### 縁側から広がる学童保育所

和歌山 | 和歌山県立和歌山工業高等学校 選手…2年生[男子8名]



万葉集にも謳われた和歌の浦、対象敷地として選定された妹背山の風景。また、対象とされた芦辺屋妹背別荘が持つ縁側の特徴、文化人との関係など歴史的な背景なども調査され、山と海が望める情景は、説明文の中からも想像でき、大変興味の湧く内容であった。

一番の特徴とも言える縁側を現代に当てはめ、風景を楽しむとともに学童保育を行うというアイデアも、次世代を担う子どもたち、また地域の方とも「地域のよさ」を再発見できるような利用案であると思える。つくり込まれた模型、利用形態をイラストで表現した説明もわかりやすい。全体の構成もわかりやすく表現されていると感じた。

がしかし、全体の計画案を拝見すると、これほどまでに歴史のある建物内部はほぼ改修され、真新しい空間として計画されている。前段にある歴史的背景の中には、その風景を楽しむために縁側があるのでなく、その縁側に隣接する居室も関係し、その一体感から風情を楽しめる建物として評価されたのだと想像すると、従来の間取り、畳の存在などももう少し活かせるのとよりよかった。場所だけでなく、そこに存在する建物としての空間も活かす方法を今後見出してほしい。

(安田)



## ベスト8

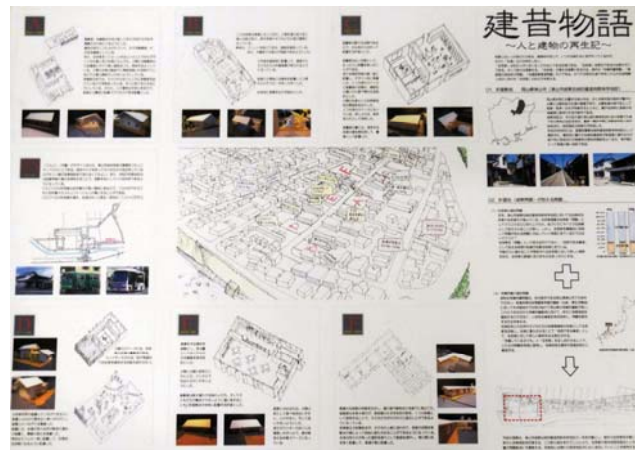
# 建昔物語 ～人と建物の再生記～

岡山② | 岡山県立津山工業高等学校 選手…2年生4名、1年生6名[男子8名、女子2名]



重伝建地区としての街並みを活かしつつ、現在問題となる空き家増加と待機児童解消に向けた提案。保育施設の機能を町の一部に分散させ、地域との交流を図る案は斬新に思える。個々の建物の説明も具体的にあり、模型とイラスト、文章の構成もわかりやすい。読んでみると、町の中を子どもたちが元気に走り回る様子が伝わってくるような、楽しめる提案だと思う。気になる部分として、高齢化に向けた説明がある中で、高齢者と今回の計画についての繋がりが少し弱いように感じた。バスの共同利用説明はあるが、他の接点がもう少し出せるとその先にある「活性化」に繋がると思う。

カフェの存在もよいと思うが、待機児童解消のための保育機能をもつ町ぐるみの対応の中で、どのような人たちがカフェを利用し、園庭にある砂場を利用する子どもたちとの接点ももう少しあると、その場所にあるカフェの意義が強調され、一体とした町全体での空き家対策に繋がると感じる。実際に行くとすれば、防犯面(交通も含め)についてより検討が必要だが、そのような実際のシミュレーションを深め、さらに個々の関連性が生み出されればよいものとなったであろう。(安田)



## 教育・事業本委員長特別賞

# そらの 空 ✕ 商店街

兵庫 | 兵庫県立兵庫工業高等学校 選手…3年生1名、2年生3名[男子1名、女子3名]



出展された作品の中でもっとも色彩豊かな作品である。昼と夜の商店街の様子を色鮮やかに表現している。活気のない商店街を魅力的なアーケードで活性化しようとする提案である。

アーケード街、それはかつて人が集まる場所の代名詞でもあった。さまざまな食材や商品に溢れ活気に満ちていた。現在は人口密度の高い場所や、観光地では賑わいを保ち続けている商店街もあるが、経営者の高齢化や大型店舗の進出などで消費者の足が遠のき、空き店舗が増え、活気を失った店舗が残されているのが現状である。

今回アーケードの屋根に選択された素材は布である。一見風雨には弱そうだが、風にたなびくさまは他の素材では演出できない。最近この笠松商店街は、若い職人や芸術家の卵たちに人気の下町のような。太陽のまぶしい夏には訪れた人々に心地よい日陰を提供するであろう。満点の星空が屋根の布のスクリーンに映し出される時、商店街は再び賑わいを取り戻すのではないだろうか。そんな思いにさせてくれる楽しい提案である。(廣瀬)

